

文化振興基本計画策定に向け検討委員会が開催されました

10月23日、三好市における文化振興施策の基本方針を定める「三好市文化振興基本計画」策定を目指し、調査・検討を行う機関として「三好市文化振興基本計画策定委員会」が設置され、第1回目の委員会が開催されました。

この委員会は、有識者、各種団体代表、公募市民ら15人で組織され、市長からの諮問に基づき、さまざまな観点から計画案を検討し、来年度中に答申を行うこととなっています。

同日開催された委員会では、委員の委嘱の後、委員長・副委員長が互選により選出され、委員長には田口太郎氏（徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部准教授）にご就任いただくこととなりました。引き続き、黒川市長から田口委員長に諮問書が手渡され、「個性と魅力あふれるまちづくりを目指し、市内外における交流を促進するための計画案の検討」が要請されたところです。

その後、委員会の議事においては、計画案の検討についての方針や定義、調査企画案などについて活発な議論がなされました。なお、基本的な状況を把握するため、20歳以上の市民2,000人を無作為に抽出し、アンケートを実施することが了承されました。



お願い▼上記のとおり、計画案策定に資するための調査の一環として、市民の皆さまを対象に、12月上旬頃アンケート調査を郵送にて実施する予定ですので、お手元に届きました際には、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

★お知らせ★ 三好市民文化祭パンフレット末尾のスタンプラリー応募用紙の持参先が、記載されておりませんでした。持参いただく場所は、「三好市役所 本庁舎2階 文化交流推進課」の窓口でございますので、ご注意ください。皆さまには大変ご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。

お問い合わせ先 三好市役所 文化交流推進課 ☎72-7633

一般コミュニティ助成事業で、イベント用テントを購入しました

財団法人自治総合センターが行うコミュニティ助成事業を活用し、市役所観光課および各総合支所にイベント用テント（ワンタッチテント）を整備しました。

この事業は、宝くじ社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源に、コミュニティ活動に必要な備品などを整備するものです。地域のコミュニティ活動の充実・強化を図るためにお役立てください。

【保管場所および配備数】

・三好市役所 観光課 3張
・各総合支所 各2張
※利用を希望される方は、観光課またはお近くの総合支所へお問い合わせください。

三好市役所 地域振興課



三好市医師会市民公開講座が実施されました

（三好市・三好市教育委員会共催）

第3回目となる今回は、日本小児科医学会「子どもの心」対策部理事、内海裕美先生をお迎えしての講演会となりました。

内海先生は、子どもの生活の中での問題点である「メディアの長時間接触」をさまざまな角度から取り上げ、近年の凶悪事件とメディアの関係、今後考えられる心と体への危険な可能性を分析し、大人がとるべき子どもへのかか

わり方や接し方を紹介している本、『メディア漬け』で壊れる子どもたち』の著者でもあります。

参加された皆さまにとりましては、大変貴重なお話を伺える機会となったのではないのでしょうか。ここで、講演会当日の内海裕美先生の資料よりいくつか紹介します。

育ちの基本

子どもにとって最も重要な「育ちの基本」は、①眠ること、②食べること、③遊ぶこと（遊ぶことから学びに変わる）、④愛されること、です。

見直しましょう

メディア漬けの子育て

日本小児科医学会では、メディアと子どもの関係について次のように提言しています。

- ① 2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう。
- ② 授乳中、食事時のテレビ・ビデオの視聴はやめましょう。
- ③ すべてのメディアへ接触する総時間の制限が重要で、1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。
- ④ 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パソコンを置かないようにしましょう。
- ⑤ 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールを作りましょう。

子どものメディア接触時間

2004年NPO法人子どもとメディアが実施した調査結果より

【平日のメディア接触時間】

- 4時間以上
 - ▽ 小学4～6年生：49・3%
 - ▽ 中学生：54・4%
 - ▽ 高校生：46・7%
 - 6時間以上
 - ▽ 小学4～6年生：26・0%
 - ▽ 中学生：24・2%
 - ▽ 高校生：20・3%
- 子どもの半数が平日4時間以上、4分の1が平日6時間以上、メディアと接触して過ごしていることとなります。

ネット依存

全国で中高生の約58万人がネット依存状態にあることが、厚生労働省研究班の調査でわかりました。

コンテンツ依存（ゲーム、情報サイト）や、つながり依存（LINE、ツイッター、オンラインゲーム）などにより、しなければいけないことができなくなっています。

両親へのアドバイス

- 見る番組をきちんと選ぶ。
- 一緒に見て内容について話し合う。
- 批判的に見ることを教える。
- メディアに費やす時間を制限すること。
- 親がお手本を示すこと。

- メディアに代わる活動を強調する。
- 子ども部屋を電子メディアのない環境に。
- 電子ベビーシッターとして利用しないこと。

以上、資料より抜粋

子どもと接することのできる時間は、自分の人生においてどれだけ与えられているでしょうか。いつかは親元を離れ自立していきます。この限られた時間を子どもと触れ合い、向き合うことが大切であり、向き合うことができました。愛しあう時間が後悔することのないよう大切にしたいです。



私たちの大切な地域医療を守るために

住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します

